

## 夢と希望を胸に学び舎を巣立つ 市内の各学校で卒業式

市内各町の小・中・高校などで卒業式が挙行され、卒業生が思い出深い学び舎を巣立ちました。豊野中学校（伊豫富久校長）の卒業式は3月14日に同校体育館で行われ、男子21人、女子31人の計52人が卒業。卒業証書授与で、担任の先生がゆっくりとかみしめるように卒業生の名前を呼び、卒業生が大きな声で返事し、一人一人に証書が手渡されました。



卒業生が在校生に送る別れの歌を斉唱

地に育ったことを誇りに思い、平和を愛して不正を許さない人間に成長して「これからは」と式辞。在校生代表の古田博久君が「これからもずっと仲の良い学年でいてください」と送辞すると、卒業生代表の村本太郎君が「豊野中での思い出を忘れず一歩一歩前進していきます」と答辞しました。豊野中学校生は、幼稚園・小学校、中学校と10年間ほとんど同じ仲間と共に過ごしてきたこと。4月からは新しい環境でのスタートとなりますが、今のすてきな笑顔を忘れず元気にスタートしてほしいものです。



力強く答辞を述べる卒業生代表の村本太郎君

## 友達がたくさんできたよ！

### 三角町の保育園で5歳児交流会

2月24日に三角町公民館で、小学校入学を目前に控えた三角町の保育園（幼稚園含む）5園の5歳児交流会が開かれました。まずは初対面の多くの園児の前に、一人ずつ自己紹介アンパンマン体操で準備体操をした後、「じゃんけん消防車」や「しっぽとりゲーム」で他園の友達と楽しく交流しました。

会が終わりに戻るころには、新しくできた友達に「またね」と手を振るくらいの仲良し。この交流会を始めたわかき保育園の鈴木喜一園長は、「大人と同様に、子どもも新しい環境には不安が伴います。子どもたちはこの会で自信をつけて入学していきますよ」と語りました。



初対面のお友達を前に恥ずかしそうに自己紹介

## 厳寒の中 消防団が魅せた！

### 松橋方面隊が通常点検・放水競技を開催

宇城市消防団松橋方面隊の通常点検および放水競技が3月13日、本庁舎北側広場で開催されました。式典では、方面隊員443人と松橋町内の幼少年消防クラブ員125人がラッパ隊の演奏に合わせ、堂々とした分列行進で入場。続いて、班対抗による通常点検と放水競技を実施しました。時折雪がちらつく中、寒さを感じさせない気迫ある動きで日ごろの訓練の成果を披露。競技の結果、通常点検の部で第2分団第3部第3班（沖塘）が、放水競技の部で第4分団第3部第1班（浦川内）が優勝しました。



タレイン車からつるされた水をいかに早く落とせるかタイムを競う「放水競技」は活潑な様子！

## 楽しい催しがいっぱい

### 春の訪れを告げる小川初市

春を感じる陽気の中、3月1日、小川初市が小川商店街で開かれました。歩行者天国となった沿道約500mには、植木や花苗、陶器などの露店やフリーマーケットが出店。特設ステージでは、舞踊やカラオケ大会が行われました。小川郷土資料館では、小川町商工会女性部が白玉ぜんざいの無料サービスで温かいおもてなし。来館者たちはロクに「おいしい」と言いながらぜんざいを頬張っていました。また、ひな祭りに合わせて商店街の店頭3カ所余りには「ひな飾り」が展示され、買い物客らを楽しませました。



露店などがずらりと並び買い物客でにぎわいを見せた小川初市

## 夜空にこぼれんば！ 宇土半島南回りをナイトハイク

3月19日、JR三角駅（三角町）から不知火公民館（不知火町）までの23kmを歩く「第23回ナイトハイク」が、市教育委員会などの主催で行われました。参加者は午後7時30分に不知火公民館に集合し、用意されたバスでJR三角駅まで移動。JR三角駅を午後9時に出発し、不知火公民館まで春寒やや緩み始めた弥生の夜を歩いていました。家族や友達、大人から子どもまで59人が参加。一番早い人は3時間13分で到着しました。到着した後は、お楽しみ抽選会や温かい団子汁も用意され、参加者は終始満足している様子でした。



一斉にスタートする参加者たち

まだまだ余裕(?)の表情を見せる2人組